

令和3年度 学校教育目標および経営方針

たつの市立誉田小学校

1 学校教育目標

自ら学び、こころ豊かで、共にたくましく生きる児童の育成
～ 主体的に活動する誉田っ子 ～

<めざす児童像>

明るく思いやりがある子

校訓

- ・強く →
- ・正しく →
- ・美しく →

- ① 進んで元気に、あいさつのできる子
- ② ふるさとや学校を愛する心をもつ子
- ③ 自ら学び、ねばり強くやりぬく子
- ④ きまりを守り、正しく判断できる子
- ⑤ 心やさしく、感性豊かな子

<めざす学校像>

心の通い合う魅力ある学校

- ① 確かな学力の育成(きめ細やかな指導の充実) 知
- ② 豊かな人間性(道徳・人権教育の充実) 徳
- ③ 体力・運動能力の向上(継続的な運動習慣の定着) 体
- ④ 安心・安全で美しい学校(学習環境の整備)
- ⑤ 地域に開かれた魅力のある学校

<めざす教職員像>

日々研鑽する教職員

- ① 子どもの心に寄り添い、子どもと共に学ぶ教職員
- ② 豊かな心と人権感覚に満ちた教職員
- ③ 明るく健康的で教育に情熱を傾ける教職員
- ④ 専門職として使命感と倫理観をもつ教職員
- ⑤ 課題意識を持ち、効率的に職務を遂行する教職員

2 学校経営方針

- (1) 主体的・対話的で深い学びを実現し、創造性を伸ばす教育に取り組む。
- (2) 学校・家庭・地域との連携の下、危機管理意識を高め、安全で信頼される学校づくりを進める。
- (3) チーム学校としての組織力と「学びの専門家」としての資質能力の向上を図る。

3 本年度の実践の重点と具体的活動

- (1) 「確かな学力」の確立のため、「知識・技能」の習得を図り、これらを活用して課題を解決するために必要な「思考力、判断力、表現力」を育成し、「学びに向かう力・人間性(主体性・多様性・協働性等)」の涵養を図る。

◆基礎基本の徹底(朝学習・補充学習の充実) ◆基本的学習習慣の確立・啓発(家庭学習の手引き) ◆「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善(職員研修、授業研究) ◆読書の習慣化(朝読書の時間の確保、ブックトーク、移動図書館の活用) ◆1人1台端末を活用した授業の創造 ◆基礎的運動能力の向上(リズムジャンプの活用) ◆学びの質の向上に向けた授業研究の推進等

(2)人権教育や道徳教育を推進し、互いを思いやり尊重し、命や人権を大切にする「豊かな心」を育む。

◆人権教育の充実（授業研究、地域教材の開発、ふれあい学級、広島平和学習等）◆特別の教科「道徳」の時間の充実◆思いやりの心やリーダー性の育成（ウォークラリー、縦割り班活動等）◆福祉教育の推進（手話・点字・アイマスク・車椅子体験学習、西はりまリハビリテーションセンター等との交流）◆あいさつ推進活動・花いっぱい運動の推進等

(3)家庭や地域と連携し、子どもの安全を守る取組並びに運動や食育・健康教育を通じた「健やかな体」の育成とキャリア教育を推進する。

◆震災の教訓を生かした危機管理・防災体制の確立（避難訓練の充実、引き渡し訓練の実施等）◆安全指導の徹底（交通安全教室、登下校指導、見守りボランティアとの連携等）◆児童虐待防止に向けた適切な対応と関連機関との連携◆食育・健康教育の充実（保健室だよりの発行、歯磨き指導、アレルギー疾患対応、給食指導の充実、感染症対策の充実等）◆スポーツ活動の推進（各種大会への参加）◆キャリア教育の充実◆情報モラルの育成等

(4)体験活動の充実をさせ、ふるさとや学校に対する誇りや愛着をもたせるとともに、コミュニケーション能力の育成を図る。

◆ふるさと体験活動（ウォークラリー、太鼓づくり5年、まちたんけん2年、地区探検3年等）◆社会教育との連携（ふれあい学級、青少協、隣保館事業等）◆学校園連携型一貫教育推進事業◆体験活動の推進（環境体験事業3年、海に学ぶ体験事業4年、自然学校5年）等

(5)生活指導の充実と、児童の内面理解に努め、一人一人が大切にされる学級経営を推進する。

◆基本的生活習慣の確立・啓発（ほんだっ子10の約束・あいさつ運動の徹底）◆児童支援推進委員会・生活指導委員会の充実◆いじめを許さない学校づくり（いじめ等の早期発見・早期対応）◆専門家や相談機関との連携◆子どもと向き合う時間の確保（勤務時間の適正化、業務改善等）◆児童理解研修等

(6)インクルーシブ教育システムの構築をめざす、特別支援教育の充実を図る。

◆個別の教育支援計画、個別の指導計画の効果的な活用◆特別支援教育推進委員会・教育支援委員会の充実◆特別支援学校や関係機関との連携◆合理的配慮に基づく教育課程の実施◆相談・支援体制づくりの推進◆職員研修の充実等

(7)学校・家庭・地域の連携を深め、地域に開かれた魅力ある学校づくりに努める。

◆教育活動の情報発信（誉田小だより、学級通信、ホームページ、よくわかる誉田小等）◆オープンスクールの充実◆学校評議員会・学校評価システムの有効活用◆学校・家庭・地域相互の教育支援体制の構築◆家庭の教育力向上への啓発

(8)教職員の資質と実践的指導力の向上に努める。

◆教員研修の充実（研究授業の実施、外部講師の招聘、「誉田の教育」の発行、研修会への参加）◆信頼される教師集団づくり（使命感と倫理観の保持、接遇の向上）◆明るく風通しの良い職場環境づくり◆総合的な人間力（豊かな人間性や社会性、コミュニケーション力、同僚とチームで対応する力、地域や社会の多様な組織等と連携・協働できる力）の育成